



平成26年4月15日

- 2〜3面 ツツザキヤマジノギク
- 4面 歴史館森將軍塚古墳を探访
岩本くにをさん講演
- 5面 高齢者講座
青年の家だより
- 6面 スポーツ・情報
ひと・すぽっと
- 7面 視点・声・ペンべん草
- 8面



まつかわ百景 ⑦9

「芳重地蔵」

小高い東小学校植物園より故郷を見つめながら、学びとは何か、真の人間らしさとは何かを問いかけている。

宮澤芳重さんは大正7年に20歳で上京し、苦学の体験から、郷里伊那谷の教育機構の充実をめざし、その実現にとりくみ、飯田大学の創建を地域に働きかけ続けて一生を終えた。72歳、死して尚自分のからだを医学を背負ってたつ学生の教材にしてくれと献体して。

芳重さんが目指したことは、誰でも大学教育が受けられるようになることであり、その教えを常識化するものであった。家で働кинаがら学べるような大学は身近にはない。上京して学ぶには金がかかると。独学には限界がある。しかし学びたい。と生死をさまよいながらの苦学の体験から描き出した願望であり、「飯田大学の創建」運動は「自分が欲することは誰にとっても共通している」という確信に基づいた実践であった。

教育とは、一定の価値観や知識を相手に変えることではない。学習とは与えられたことを受けとめて覚えることではない。本人が学びたいと思うことがすべて自分の見方や教え方をもって行動ができるようになる。「人間形成」をめざすことが教育の目的である。教育とはどんなことでもよい、学びたいという意欲をひき出し「学び方」を教えることである。というのが芳重さんの教え方であった。

そしてその大学は学ぼうとする人々が主人公となつてつくること

主張

宮澤芳重さんからの学びを

誰かの金や補助金をあてにして名の知れた大学を誘致すればよいという考えではない。大学を経済優先の考えでの学歴や資格をとるために教えるのではない。国立では国の政治政策によって、私立は運営のための財政状況によって純粋な学びがめられる恐れがある。だから地域のみんなの考えによってつくられる「郷立」(郡市介立)が望ましいのだと。当面講座形式でよい、そこから本物の学習を積み上げて「飯田大学」として位置づけようというのが、芳重さんの考えであった。

今、真の教育とは何かが問われている。日本の将来がどうなるのかという鍵を握っているのが「教育」のあり方である。政治経済が優先され、遅れまいとするあせりと競争に子どもたちをまきこみながら、教育活動が閉塞的な状況に陥っている中で「真の人間らしさ」とは何かを皆で考えあうことの必要性を芳重さんは示してくれている。

☆29日に芳重地蔵の立つ東小学校で「地蔵になった男」のNHKビデオをみて芳重さんから何を学ぶかを考えあう会を実行員会で企画準備し多勢の参加を期待している。

「地蔵になった男」上映会実行委員会
実行委員長 松下 拡

なに近くにあった。

マジノギク

秋に落ちた種が翌春芽生え秋にかけてロゼット状の葉が成長します。タンポポの葉のように地面にへばりつくように広がっているのをロゼット状という



ツツザキヤマジノギクは長野県固有種で現在の自生確認地は、中川村小渋川と松川町の天竜川。筒状の花びらの先が2つに割れたカワラギクの変種ともヤマジノギクの変種ともいわれています。

秋に落ちた種が翌春芽生え秋にかけてロゼット状の葉が成長します。タンポポの葉のように地面にへばりつくように広がっているのをロゼット状という

一昨年度の公民館研究集会のうちに、自然保護に関連して出された意見として、町の天竜河原に自生する希少種であるツツザキヤマジノギクの話が出されました。そこで身近にある他に誇れる松川町の自然を見つめていきたいと思えます。

今回は研究集会の折に話題に上がったツツザキヤマジノギクを取り上げてみました。

松川町での天竜川周辺の植生に関わる活動としては、天竜川上流河川事務所主催で行われた「天竜川自然観察会」や、松川青年の家主催の「松川プログラム・天竜川の植物観察と魚とり」などが行われています。特に力を入れて活動をされているのが社会教育委員によるツツザキヤマジノギクの保護活動です。

この活動は開始からすでに3年がたち、徐々にツツザキヤマジノギクの数が増えつつあります。具体的には町内



天竜河川
ツツザキ
ヤマジノギク



大変な駆除作業

の天竜川河川敷にて場所を決めての年2回の外来植物の駆除作業と、秋に咲くツツザキヤマジノギクの観察会を行っています。

守りたい自然がこん

ツツザキヤ

ツツザキヤマ
ジノギクは今県
の絶滅危惧1A
類とされています。

ツツザキ ヤマジノギク の現状

初夏を迎える
と、ツツザキヤ

マジノギクの自生する天竜河
原には黄色のじゅうたんを敷
いたようにオオキンケイギク
が咲き誇ります。実はこのオ
オキンケイギクは外来種です。
また、大木になっていません
が、ニセアカシアの小さな木々
が繁茂しています。その中で
ツツザキヤマジノギクは、シ

ツツザキ ヤマジノギク 保全の意義

天竜川のツツザキヤマジノ
ギクを守る活動の大切さ、そ
の意義を挙げてみます。

ナダレスズメガヤ等の雑草に
囲まれてひっそりと成長して
います。

10月下旬から11月上旬には
うすい藤色の花を咲かせます。

絶滅の要因

① ダムの設置で洪水が減
り、ロゼット状の草花
に適した攪乱地が少な
くなった。

② 高温・乾燥・低温・貧
栄養など厳しい自然条
件の玉石河原でも平気
な外来植物の侵入が増
えた。

③ 燃料が石油・ガス・電
気になり、薪炭材とし
ての雑木林の伐採が無
くなり、樹林化が進み
裸地や草原が存在しな
くなった。

① 世界でここにしか生育
していない植物が絶滅
し消えてしまうのは生
命の尊厳が失われるこ
と。

② 科学の対象となる貴重
な遺伝子は研究対象と
してはもちろん、文
化・工業・園芸・医学

ニセアカシア



オオキンケイギク



シナダレスズメガヤ



マジノギクは、私達に生命の
大切さ、尊さを訴えかけてい
ます。

限られた聖域を守ること。そ
のためにオオキンケイギクや
ニセアカシアといった外来植
物を人の手によって駆除する
ことが、すぐ取りかかれる手
段です。

小石だらけの河原に咲く儂
げなたたずまいのツツザキヤ

この活動を多くの人に知っ
てもらい活動の輪を広げてい
きましょう。

歴史館・森將軍塚古墳を探訪 町史探訪の会

「松川町史探訪の会」では、3月28日に千曲市の長野県立歴史館と森將軍塚古墳を訪れました。

歴史館では、ナウマンゾウや約6千年前の縄文の村の実物大復元模型等が展示された原始時代から始まり、明治初期、松代にあった製糸場の実物大復元模型や昭和に使われた、いわゆる「三種の神器」

等が展示された近代までの長野県の歴史を見学しました。今回も資料館の酒井幸則さんに

解説をしてもらいながら見学をしました。

個人で黙々とする見学に比べ、詳しい解説付きでの見学と見学できたようでした。中には夏に町史で読んだ宿場や街道の展示もあり、国絵図を指でなぞりながら覚えのある街道を確認する場面も見られました。

森將軍塚古墳では、発掘調査に基づき復元された古墳や現地では見ることができない

国絵図で宿場を確認

大きな古墳や忠実に再現された竪穴式石室を間近で見ることができ、当時の様子を知ることができました。また、この日は天候にも恵まれ、古墳の上から千曲平が一望でき、絶景を楽しむこともできました。
今回は町史を少し離



古墳から一望

れ、長野県の全体的な歴史に触れ、想像し、学ぶことができました。

「人の土地を奪ってまで何のために満州へ行ったのでしょうか」

「二度と戦争をしてはいけません」

満蒙開拓の実験を語る、岩本くにをさん(松川町名子在住)のこの言葉に、平和のありがたさ、大切さを考えさせられます。

松川町文化協会

会では、平和を後世に残したいという思いで、このほど満蒙開拓団の一人として戦争を体験した岩本くにをさんのお話を聞く講演会を開きました。

岩本さんは泰阜村出身。昭和16年9歳のときに一家6人で満州に行き、平成8年64歳でようやく日本に帰国しました。昭和19年には母・姉を病気で亡くし、昭和20年終戦後の冬には妹が中国人にもまれていき、また昭和21年には父・兄を病気で亡くしました。独りになった岩本さんは中国人に世話をしてもらい、22歳のとき中国で結婚。平成8年



お話をされる岩本くにをさん(左)

にそのご主人やお子さんなどの理解を得て一緒に帰国。現在松川町で暮らしています。戦争のために中国で独りになった岩本さん。そのとき面倒を見てくれたのはやさしい中国の人たち。なぜ戦争をしたのか。この戦争で日本も中国も大勢の人が亡くなってしまいました。

この悲劇を繰り返してはいけないという岩本さんの痛烈な思いが伝わる話に、聴講に訪れた大勢のみなさんが平和の大切さを噛み締めました。

平和を後世に

満蒙開拓の体験を聴く



2月27日 松川町文化協会講演会

春のコンサートを 楽しむよ

第4回 高齢者講座

「アルパと笛と歌で楽しむスプリングコンサート」が3月7日に、町民体育館トレーニングルームで開かれました。

今回は、アルパ奏者市原寿美・幸夫ご夫妻のアンサンブル「ことぶえ」と松川町ご出身のソプラノ歌手浦野純子さんが出演されました。アルパは、ハープの一種で、ラテン・アメリカ各地の伝統楽器です。

当日は、冬の戻りで大変な寒さでしたが、100名近い方々が来場され、松川北小の4年生の皆さんも一緒でした。

『コーヒールンバ』『コンドルは飛んで行く』という馴染みのある軽快な曲がやわらかで美しい音色で演奏され、浮き浮き気分になってきました。浦野さんも登場し「早春賦」を熱唱され、皆さんは熱心に耳をかたむけられていました。

続いて、参加された方々のリクエストコーナーです。「おぼろ月



「ことぶえ」のお2人と浦野純子さん

夜「花」などの懐かしい童謡唱歌

また、「北国の春」「蘇州夜曲」などの懐メロもリクエストされ、アルパの伴奏で、みんなが歌いましたが、だんだんと盛り上がってきました。

おじいさん、おばあさんも含め参加された方々が、アルパと笛が奏でる美しい音色を聞いて、そして、みんなでいっしょに歌ったりして、元気をいただいた楽しいひと時でした。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

(No.631)

冬の自然観察会

2月11日は冬の自然観察会でした。7日から8日にかけて降った歴史的な大雪で、森の中には40cmぐらいの雪が積もっていました。歩くには大変でしたが、ここに棲む動物物の冬のくらしを知るにはとても良い機会となりました。

木の芽の防寒具

まず、私たちは木の芽たちはどんなふうにも冬の寒さをしのいでいるか観察してみました。

コナラの芽は厚い皮を何枚も重ね着をして堅く固まっています。コブシの花芽を半分に分けてみると、おしべやめしべの赤ちゃんたちは、ふわふわした厚い毛布にくるまわすようにして暖かそうでした。と



大雪の森で

ころが、秋になると紫色の実が美しいムラサキシキブの芽は、春になると開く葉っぱが小さく丸まっているだけで、外には何も着ていないのです。「裸同然でも寒くないのでしょうか。」とNおばさん

雪の上にエビフライ？

膝まで埋まりながら森の中へ入っていくと、1cm位の木片が真っ白な雪の上にたくさん散らばっている場所がありました。「もしかしたら…」と思います、「近くに珍しい物が落ちていないか探してください。」

と言うと、子どもたちはすぐに見つけて「これっ？」と小さなマツボックリの芯を差し出して見せてくれました。「そうです。これはムササビが昨日の夜このアカマツの枝でマツボックリの実を食べたあと落としていった食べかすです。エビフライに似ているので森のエビフライとも呼んでいます。」「ふーん。それじゃここにムササビがいるんだね。」と納得顔のD君でした。

ノウサギはいずこへ？

そのあと、みんなで道を歩きながら、雪の上に何かを見つける事になりました。分か



ノウサギの足跡



森のエビフライ

れ道付近でY君が「あつた。」と叫びました。雪の上に残された動物の足跡でした。それは上から崖を下りてきて道路を横切り、下の沢の方へ続いています。小さな二つの足跡がそばに並び、大きい二つの足は離れて並んでいた。この足跡は清流苑の第2源泉の前の駐車場でもみつけられました。平らな雪原に点々と続いているので、Y君は小走りしながら嬉しそうに追跡を始めました。途中で向きを変えた場所や足踏みをしたような場所もみつかって大喜びです。ところが、その足跡は途中でふつんと切れてなくなっていました。Y君はその続きを一生懸命探しましたが、どうしてもみつけられません。そのノウサギに何が起きたのかみんな心配しました。



個人戦	第1位	福沢 隆夫
第2位	笠原 武明	
第3位	竹村 明浩	
第4位	岩村 和夫	
第5位	高坂 政憲	
射詰賞	福沢 隆夫	

第3位	上片桐地区
	南島 健
	森岡真理子
	竹村 明浩

準優勝	名子地区
	野牧 初彦
	伊藤 久人
	笠原 武明

優勝	上新井地区
	大蔵 寿春
	福沢 隆夫
	岩村 和夫

3月30日(日)に松川町弓道場にて第38回地区対抗弓道大会が開催されました。結果は次のとおり。

第38回地区対抗弓道大会

弓道教室を開催します！

近年、生涯スポーツとして弓道の愛好者が増加しています。また青少年健全育成という点からも『礼』に始まる武道が注目されています。何歳からでも始められ、男女の区別もありません。また、かなり高齢になっても続けられます。町長さんも生涯学習の必要性を大いに推奨しています。高校や大学で弓道に親しんでいたが現在中止している方、ぜひ私たちの仲間になってみませんか。月・木曜日にお待ちしています。

開催日：5月15日(木)より 毎週月・木曜日 20回にて終了予定
 時間：19：00～ 2時間程度
 場所：松川町弓道場(名子地区)
 対象：学生(高校生以上)、松川町在住者、松川町在勤者
 持ち物：胸にボタンの無いシャツ(道具は町にもあります)
 費用：スポーツ保険加入代
 主催：松川町弓友会
 共済：松川町教育委員会・松川町公民館
 申込先：中央公民館 電話36-2622 FAX 36-6620
 締切：5月14日(水)

コミュニティーコンサートを開催します！
 5月3日(土・祝) 19：00～

松川町音楽祭25周年を記念して、5月3日19時より名古屋フィルハーモニー交響楽団のメンバーを中心に構成される「ひとはな四重奏団」をお迎えして、松川町町民体育館トレーニングルームでコミュニティーコンサートを開催します。現在、学校、町の音楽関係団体のみなさんでつくる実行委員会で準備を進めています。また、合同演奏を行う有志の方々も当日に向けて練習に励んでいます。皆様のご来場、ご参加をお願いいたします。

入場料：小学生以上500円(全席自由)
4月10日より松川町限定先行販売。
 *オケ友のポップスコンサート(5/2)、名曲コンサート(5/5)の各チケット、セット券の提示でも入場いただけます。ただし、満席になった場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。
チケット販売・問合せ：松川中央公民館 電話 36-2622
 主催：オーケストラと友に音楽祭実行委員会・飯田市・飯田市教育委員会・コミュニティーコンサートinまつかわ実行委員会
 共催：公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団・松川町・松川町教育委員会

ひとはな四重奏
(ヴァイオリン・フルート・オーボエ・ピアノ)
 名古屋フィルハーモニー交響楽団のヴァイオリン奏者矢口十詩子、フルート奏者 富久田治彦、オーボエ奏者 山本直人、そしてピアノ奏者 石川ひとみの4人によるグループ。オーケストラの主要楽器、ヴァイオリン、フルート、オーボエ、それにピアノを加えて繰り広げられる多彩な音色と軽妙なトークが、幅広い年齢層に好評を得ている。レパートリーも豊富で、クラシックはもちろん、ポップス・流行歌などそれぞれの楽器の特徴を生かしたアレンジにより、ジャンルを超えたカジュアルな内容のライブ活動を展開している。



3月22日(土)開催の第32回福祉を考える集芸。



その時まで輝いて生きる ～人生をより良く締めくくるために～

すぽっと

今回のメインテーマは、近頃、耳にする事の多くなった「終活」について。「就活」や「婚活」はかなり身近なことばとして認知されていますが、人生のエンディングを迎えるための「終活」。健康寿命と平均寿命に10～12年の差が有るといわれる今、終活が注目されています。事例発表されたボランティアグループゆきわり草の河原さんは、退職された時今まで経験したことのない失望感と不安感を感じたそうです。人生の最終ラウンドを迎えてしまった、という言い表すことのできない感情。

しかし、不安を整理するため、退職後の生活や終わりへの準備について考え始められたそう。そして、自分達でできること、行政にお願いすることなど、地域に必要なことを、ずくを出して考えていかなければならないのではないかと発表されました。地域包括支援センター、各ボランティア団体、日赤病院などの発表のあと、分散会での活発な意見交換がされました。町内外から参加された160名余りのみなさんは、今後の生活をみつめなおす良い時間を過ごされたのではないのでしょうか。



昨年副会長として会長をサポートしてきましたが、会長の仕事を覚えるのに必死で今年度

「女性という立場としての考えをお聞きすると、今まで大役をこなしたことがなく、女性目線というより、ひとつひとつの行事を確実に丁寧にこなしていくことを目標としてやっていきたい。今後、男性、女性に限らず、たくさんの人に経験してもらえればいいと思う。」と語ってくれました。大久保さんは、館報編集部のOBで部長も経験されており、責任感があり明るく楽しい方です。学校、PTA、児童の皆さんと連携してきつと立派なPTA会長の役割を果たしてくることでしよう。

今年度やってきたことが自分できるか不安な気持ち

で、毎日PTAのことで頭がいっぱいだと思います。しかし、女性の先輩役員の方から「PTA活動を少しづつ楽しめばいいよ」と言葉をかけてもらい、「また楽しめるところまではいつていないが最後に楽しかったと思えるようになればいいな。」と話してくれました。またこの一年間で、子どもさんが留守番やお手伝いをしつかりしてくれるようになり、子どもさんの成長も大きく家族の協力がなくてはできないと感じているそうです。



女性初の北小PTA会長 大久保なおみさん

女性という立場としての考えをお聞きすると、今まで大役をこなしたことがなく、女性目線というより、ひとつひとつの行事を確実に丁寧にこなしていくことを目標としてやっていきたい。今後、男性、女性に限らず、たくさんの人に経験してもらえればいいと思う。」と語ってくれました。

ま っ か わ 大 学 第9期生募集

多彩な講師を招き、楽しみながら一緒に学んでみませんか！

講座 1

6月14日(土)

「男と女のあり方が変わる 経済も変わる」

講 師：森永 卓郎 氏

時 間：13：15～15：00

講座 2

9月6日(土)

「出会いを活かせば道は開ける」

講 師：中村 文昭 氏

時 間：13：30～15：00

講座 3

12月6日(土)

「魅力発見 超絶技巧ミュージックベル」

演 者：デュオ アンダンテ

時 間：13：30～15：00

講座 4

2月7日(土)

「脳を鍛える活脳トレーニング」

講 師：篠原 菊紀 氏

時 間：13：30～15：00

●入学金…年間1,500円 (ただし、受講登録は町民のみとなります)

●締切 5月9日(金) ●お問い合わせ先 中央公民館 電話36-2622

声 新社会人に聞きました 先輩社会人に聞きました

新年度、町内在住で社会人としてスタートを切った方、また新社会人として1年を過ごした方に質問をしてみました。



関 夏実さん
保育士

Q 社会人になっての感想は？

A 新生活に入ってから慣れないことも多く、あつという間に時間がたつてしまいます。

Q 学生時代との違いは？

A 生活サイクルが変わりました。一番の違いを感じるのは朝が早くなったことです。

Q リフレッシュの仕方は？
A 家でゴロゴロして英気を養います。

Q 始めてみたい事、身につけたい事は？

A 新しい生活が始まったばかりで、これから考えたいと思います。昔からダンスが好きです。

Q 初任給の使い道は？
A 親孝行をしたいです。あとは貯めます。

Q 家族、知人からのアドバイスは？

A 昔から保育士になりたくてやっと保育士になれたので、みんな応援してくれています。

Q これからの抱負は？

A わからないことはいつばいありますが、園児のみなさんに生活習慣をしつかりつけてもらったり、安心して過ごすことのできる環境をつくらしたりすることに努めたいです。また、広い視野で周りに配慮できる、気配りのできる社会人になりたいです。がんばります！



鈴村 涼さん
営業職

Q 社会人となり1年たつての感想は？

A 目の前の仕事をこなすのに精一杯で、気付けばもう1年たつてしまったという感じです。

Q リフレッシュの仕方は？
A 旅行やテニスに行つて身体を動かしています。あとは、ひたすら睡眠をとる事です。

Q 休日の過ごし方は？

A 最近ゴルフを始めましたが、なかなか上達しません。どなたかコツを教えてください。

Q 社会人になって始めた事、身につけた事は？

A 毎日コツコツ勉強することの大切さを実感しています。

Q お給料の使い道は？

A ついつい服などを買いすぎてしまいます。

Q 新社会人へのアドバイス
A 5年、10年後にどんな社会人になりたいか、そのためには今何をすべきかというように目標を細分化し、期限を決めると良いと思います。そうすることで毎日小さな目標が持て、自分の理想の社会人像へ少しずつ近づいていきます。

Q これからの抱負
A 社会人2年目ということ

で自覚を持ち、先輩の手下になれるようにしたいです。また、目標とする姿に一步でも近づけるように、日々目的を持って生活していきたいと思っています。

◎◎◎◎

「暖かくなったらウオーキングをする」という意志は固かったはず。それが、こんな経緯があり、まだ始まっていない。

① 靴選びに時間をかける
ウオーキング専用の靴を探した。時間をかけて店を回り、さんさん迷つてやつと気に入った一足を見つけた。

② 万歩計をなくす
靴も買ったし、これで準備が整ったと思った矢先。愛用している万歩計がない。どこを探しても見当たらない。始めるのは新しい万歩計を購入してからにしようとなる。

③ 捻挫をする
万歩計を購入し、さあ始めようと思ったが、なんだか足が痛い。捻挫をしていたのだ。当分は安静にしようと思いつに至る。

この悲劇的な経緯を友人に話すとやる気がないだけだよ！と一刀両断。反論するどころか妙に納得。そういえば去年このペンペン草で「来年こそは花粉症の治療をする！」と公開宣言をした。そのはずが今、花粉症で鼻水とくしゃみに悩まされながらこの文章を書いている自分がいる。そんなもんだ(笑)。(巻井美幸)



まちの石仏 ③ 「馬頭観音」(郷原)

七観音または八大明王の1つである馬頭観音。この馬頭観音は名前だけを記したものである



公民館報
「まつかわ」
第 606 号
平成26年 4月15日
発行所 松川町公民館 登部
責任者 矢澤 公民館編集部
編集人
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)
再生紙を使用しています。